

2015年12月15日

SB Energy

SB Energy、インド・アンドラプラデーシュ州の 350MW メガソーラー発電事業を落札

～ソフトバンクグループによるインド初の太陽光発電事業～

ソフトバンクグループ株式会社（以下「SBG」）とバーティ・エンタープライゼズ・リミティッド、フォックスコン・テクノロジー・グループの3社による合弁会社である SB Energy (Executive Chairman : Manoj Kohli, CEO : Raman Nanda, 旧社名 : SBG Cleantech) は本日、インド中央政府による出力規模 350MW の太陽光発電プロジェクトを 25 年間、4.63 ルピー*/kWh (約 9.12 円/kWh) の売電価格で落札しました。
※ 1ルピー=1.97円で換算した場合

同プロジェクトはソフトバンクグループによるインド国内での再生可能エネルギー普及の第一歩であり、SB Energy によるインドでの 20GW の再生可能エネルギー発電公約に寄与するもので、アンドラプラデーシュ州カルヌール地方の Ghani Sakunala Solar Park に建設予定です。この発電事業はインド中央政府によって 2009 年に施行された太陽光発電施策「JNNSM (Jawaharlal Nehru National Solar Mission : ジャワハルラル・ネルー・ナショナル・ソーラー・ミッション)」における最大級の事業で、アンドラプラデーシュ州が所有する太陽光発電所から土地、道路、排水ならびに排出設備が発電事業者提供されます。

SBG 代表取締役副社長のニケシュ・アローラは以下のように述べています。

「私たちの目的はクリーンで信頼性があり、供給力に富んだエネルギーによってインドの成長を促進する再生可能エネルギー市場のリーディングカンパニーを創ることです。このプロジェクトはモディ首相が提唱するクリーンエネルギー需給政策に大きく貢献するとともに、COP21 で採択された『パリ協定』に伴うインドの環境保護政策にも貢献します」。

インドの太陽光発電は、2015 年中に 250% の成長が見込まれています。また、世界的な動きとしては、2015 年中に再生可能エネルギーが化石燃料の成長を追い抜き、風力、太陽光、地熱やその他の再生可能エネルギーによる発電量が記録的な 107GW に達する見込みです*。

※参照元「India Solar Handbook, 2015」

● SoftBank およびソフトバンクの名称、ロゴは、日本国およびその他の国におけるソフトバンクグループ株式会社の登録商標または商標です。